

令和4年度 第2回 鴨江小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月4日（火）15時15分から16時30分まで
  - 2 開催場所 鴨江小学校 3階会議室
  - 3 出席委員 二村 弘、大石 慶太、青木 孝志、大渡 三千子、杉浦 久仁枝、井上 泉、  
齊藤 浩二、山下 亮、山本 高之
  - 4 欠席委員 田中 新治
  - 5 オブザーバー 桐澤 裕貴
  - 6 学校支援コーディネーター 山口 利恵
  - 7 学校 渡辺 紀（校長）、安藤 靖之（教頭）、倉田 智幸（教務主任）  
長尾 美奈子（CSディレクター）
  - 8 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課 CS担当）
  - 9 傍聴者 なし
- 10 協議事項
- (1) 議長の選出について
  - (2) ビジョンの共有と中間報告
  - (3) 職員とグループに分かれてワークショップ  
めざす子供像に迫るための取組の成果と課題、新たな取組について
  - (4) 各グループの発表
  - (5) 全員で熟議
- 11 会議録作成者 CSディレクター 長尾美奈子
- 12 会議記録
- 司会の安藤 靖之（教頭）から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- (1) 議長の選出について
- 司会から、議長の選出について井上委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- (2) 鴨江小学校のビジョンの共有と中間報告
- 倉田教務主任から、ランドデザインからビジョンの共有と中間報告があった。また、安藤教頭よりワークショップの説明があり、5グループに分かれアイスブレイクと自己紹介で和んだ後、目指す子供像に迫るための取り組みの成果と課題、新たな取り組みについて協議した。各グループの発表により協議内容を共有した。
- 「主体的に学び、他者との協働を通じて考えを深める子」の成果として挙げられた意見
- ・理科ボランティアで理科好きの子が増えた。
  - ・かもちゃん講座では教員ではできない技術的な指導や危険を伴う活動の安全の確保を担っていただき子供たちにとって貴重な体験ができた。また、不登校気味の子も楽しみにして出席することができた。
  - ・生け花やお茶を本格的に教えていただけて花を大切にしようとする姿勢が見られた。
  - ・総合的な学習では、住んでいる地域に環境ポスターを掲示したり、公園に花を植えるボランティア活動に

参加したりして自分たちの住んでいる地域に関心を持つことができた。

- ・ 専門の知識や技能のある方から教えてもらえることで子供たちが興味深く活動に取り組むことができた。
- ・ ボランティアのおかげでクラブ活動が充実し、教員だけではできない経験をさせることができた。
- ・ ICT 機器を活用したタブレットを使う授業で、普段あまり発言できない子も参加したり、共有したりしている姿が見られた。

・ ボランティアの方が現在の子供たちの様子を把握してくれることによって学校と地域のつながりを感じる。

● 「主体的に学び、他者との協働を通じて考えを深める子」の新たな取り組みとして挙げられた意見

・ リコーダーの授業、書写の授業、調理実習、ミシンなど子供たちに細かい指導するためにもボランティアの方に関わっていただきたい。

・ 外国語活動で語学堪能な方に海外に興味を持てるような話をしていただき、子供たちの視野を広げてほしい。

・ アスリートの方に来ていただき、運動の楽しさ、してみたいと思うきっかけ作りをしてほしい。

・ 地域の人に特技を披露していただいたり、お話いただいたりしたい。また、昔の遊びを教えてほしい。

・ 地域の方の目線で地域の危険箇所について話してほしい。

・ JR など地元の企業にも協力していただき、子供たちの興味・関心を引き出したい。

● 「自他を大切にし、思いやりのある子」の成果として挙げられた意見

・ 園芸、飼育ボランティアの活動のおかげで花や生き物が育てられ子供たちの情操を育てたり学習の支えになったりして、また、鴨江小の良さの継承となっている。委員会の方と共に活動することで、花を大切にしたり、思いやりのある心が育った。

・ 朝のあいさつ運動を続けることで、少しずつ声が出るようになった。

・ ボランティアの方が休日にもカモの世話をしてくれたことで思いやりの心が育ったり、親子のコミュニケーションがとれたりした。

● 「自他を大切にし、思いやりのある子」の新たな取り組みとして挙げられた意見

・ 保護者、組織、学校が協力し合い、ウィンウィンの関係になるようにしていきたい。

・ 段階を踏んで校内から校外、地域へと広げていきたい。

・ 接遇マナーに詳しい方（ホテル勤務・営業職）に挨拶の大切さを伝えてもらう。

・ 今行っているボランティアなどを継続するために個人活動から組織や団体と協力しての活動としていきたい。

● 「心身ともに健やかで、粘り強く取り組む子」の成果として挙げられた意見

・ 教科書の内容だけでなく地域の方々から「鴨江の特徴」を詳しく教えてもらいたい。

・ 水泳活動は、たくさんのボランティアの方の目で見守っていただき、子供たちが安心して活動することができた。

・ 運動会ボランティアのおかげで教員が子供と接する時間が増えた。

● 「心身ともに健やかで、粘り強く取り組む子」の新たな取り組みとして挙げられた意見

・ 登下校を見守る登録制の保護者ボランティアや、昼休み運動ボランティアなどがあったら良いと思う。

・ 地域の大学と連携をとってボランティア活動をしてもらってはどうか。

・ 昼休みなど遊具付近の怪我が多いため、見守りボランティアをしてもらいたい。

ワークショップ 委員の感想

・ 少し時間が足りなかったが、現場の先生方の想いや考え方が聞けて、またすり合わせもできて大変よかった。

・ 先生方が、専門色の強い科目に苦勞しているのがわかった。

## ワークショップ 教員の感想

- ・今回、委員の方と面識ができたことが一番の成果だった。ボランティアのおかげで子供たちや職員が助かっていることを伝えることができ、今後も知恵を出し合って取り組みを継続できたらよいと思う。
- ・委員の方と話してみているいろいろな特技を持っている「町のすごい人」と知り合いだったりすることがわかった。もっと地域の方との連携を深め、地域の方が参加しやすい学校作りが必要だと感じた。
- ・地域の方たちと交流を持つことの大切さを感じた。
- ・昔の遊びを知らない若い教員が増えていくので伝承していける場を設けるなど、後世に残したいものを残していけるヒントが得られた。
- ・改めて学校の教育活動が地域の方に支えられていることがわかった。
- ・今までの活動の継続、そこからさらに深める活動をしていくことが課題と感じた。
- ・地域の方に協力してほしいことなどがあれば募集し、子供たちが総合の授業などで実践するのも良いと思った。
- ・地域の方の立場から見た取り組みの視点を念頭において、外部の方との関わりをより一層充実なものにしていきたい。
- ・子供から「学びたい！」という意欲を引き出せるように子供発信で学びを広げ、そのサポートを地域の方々と協力していきたい。学校側のボランティア募集の発信の仕方などを変えていく必要を感じた。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## その他報告事項等

司会から、次回会議は、2023年2月14日（火）午後1時30分から会議室で開催する旨報告があった。